

こんにちは

# 豊前市議会です



## 6月定例会(6/4～6/20)主な内容

目次  
CONTENTS

議案の概要	2P
平成30年6月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～9P
その他	10～11P
トピックス・編集後記	12P

**No.101**  
平成30年8月

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311  
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>



# 議案の概要

平成30年第2回(6月)定例会は、6月4日から6月20日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例案件4件(専決処分含む)、その他案件1件、補正予算1件(専決処分)、報告2件、計8件が提出されました。所管の常任委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・承認されました。

また、文教厚生委員会より意見書案1件、その他意見書案1件が提出され、原案どおり可決されました。

また、市長より人事案件3件が提出され、いずれも市長提案のとおり同意されました。

## 同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■固定資産評価員(税務課長)

豊前市青豊

木山 高美

■固定資産評価審査委員会委員

(任期3年)

豊前市大字三毛門

佐山 彰

■教育委員会教育長

(任期3年)

豊前市大字八屋

中島 孝博

## 意見書第1号

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

社会保障費の圧縮や「公的サービスの産業化」など地方財政をターゲットとした歳出削減にむけた議論が加速しています。とくに、「トップランナー方式」の導入は、民間委託を前提とした地方交付税算定を容認するものであり、地方財政全体の安易な縮小につながるものが危惧されるものとなっています。「インセンティブ改革」とあわせ、地方交付税制度を利用した国の政策誘導であり、客観・中立であるべき地方交付税制度の根幹を揺るがしかねないものです。

このため、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要です。

## 文教厚生委員会の意見書第2号

### 2020年度「改訂小学校新学習指導要領」実施に伴う外国語科教育の充実に関する意見書

2020年度より本格実施される小学校新学習指導要領において、新たに外国語教育の充実が明記され小学校高学年で「外国語科」、中学年で「外国語活動」が導入されます。これに伴い高学年では年間70時間、中学年では35時間の授業時数が確保され、主要な教科として実施されることとなります。

現行では国の施策により県から英語専科教員の配置や、学校現場での授業の指導・研修等を担うエリアマネージャーの派遣などの支援を頂いているところではあるが、絶対数が不足しており、各自治体は単独の予算措置をして学校現場への支援を行っています。具体的には複数の日本人講師の雇用や、外部委託による外国人講師の配置等が必要であり、大きな財政負担となっています。

こうした現状は、自治体の財政力によって子どもたちの学習機会に格差が生じる危険性ははらんでおり、国の施策による学習指導要領の実施においてあってはならないことと考えます。したがって、国においては2020年度新学習指導要領の本格実施にあたり、十分な学習支援を行うべく必要な財政的支援をはじめとした適切な措置を講じるよう強く要望するものです。



# 平成30年6月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対  
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第36号	豊前市立多目的文化交流センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第37号	豊前市市民会館の設置及び管理運営に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第38号	専決処分について（豊前市税条例等の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第39号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第40号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第41号	専決処分について（平成30年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	議長	11	0
意見書案第2号	2020年度「改訂小学校新学習指導要領」実施に伴う外国語科教育の充実に関する意見書（案）の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第2号	豊前市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第4号	豊前市教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『無党派議員』の一般質問

### 【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 所信表明に対して
- ② ふるさと納税
- ③ 湾岸道路

### 【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 地域づくり
- ② 子どもの居場所づくり

### 【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 神楽を生かした  
これからの観光振興
- ② ごみの減量化と市民啓発
- ③ 外国人労働者と  
地域の関わり方

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

## 風水害の

## 迂回路の必要性



古川 哲也

**古川議員** 湾岸道路の今までの経過と現状と今後の取り組みについて伺いたい。

**総務部長** 湾岸道路については、平成6年に周防灘臨海線道路建設促進期成会として発足しており、早期実現に向けた県知事への陳情等を行っている。平成22年に活動を休止しているが、現在は、平成28・29年の理事会において活動の再開を確認・合意し、今年度その準備をいま進めている。

**古川議員** 道路は、迂回路を含め、2本ないと便利が悪いと思っている。湾岸道路の今後の取り組みについては、豊前市が中心となって他の自治体と、また県・国と協力し合って行っ

てもらいたいと考えているが対応を伺いたい。

**総務部長** 再開に向けて、期成会組織メンバーを検討し直しメンバーが確定してから、今年度中の総会の開催、活動再開を目標に京築広域圏事務局と調整を進めている。

**古川議員** 私の意見を言うが、八屋の沖からずっとTOTTOの所を通って、それから椎勝線につなれば、トライアルから湊まで、道が2本になると思う。防潮・防波堤の役割も担ってくれる。それから先は、中々できないと思うが、その辺りの考え方を伺いたい。

**総務部長** 地域課題の解決については、やはり能徳の入り口には1本しか道路がないので、ルート等については、理事会なり期成会で議論して、また周辺自治体とも連携を密にして要望をしていきたいと考えている。

**古川議員** 市長がリーダーシップを取って、他の自治体の長を引っ張っていただけるような気持ちで行っていただきたい。

**市長** 道路というのは、プツンプツンと切れた道路では、十分に活用ができない。また道路の多面的な活用方法、防災対策、地震津波対策について関係する自治体と協議したいと考えている。

**古川議員** 期成会で、市長が大きな力を発揮し、豊前市一市でできる事業でもないので、国・県、並びに関係自治体等々の協議のもと、行っていただきたい。

**市長** 道路の絵姿をしっかりと理解し合いながら期成会として固めていく。また、事業主体として非常に厳しい財政面でのハードルがあるので、自治体間の理解、そしてさらに国・県に働きかけて、事業主体を引き受けていただけるよう努力をしていかなければと思っています。

**古川議員** ぜひとも豊前市民の安全・安心のために早急に造っていただきたい。



# 市・企業・区長の連携



郡司掛 八千代

**郡司掛議員** 豊前市に、住民登録をされている外国人の人数を伺いたい。国籍別の人数もあわせて、お尋ねする。また、行政区別の人数の把握ができていますか伺いたい。

**市民福祉部長** 5月末現在の外国人の登録総数は、279人である。国別では、上位5カ国は、ベトナム102人、中国47人、韓国42人、ミャンマー27人、フィリピン23人となっている。行政区別では、角田12人、山田5人、大村1人、八屋41人、宇島121人、三毛門35人、黒土36人、千束22人、横武3人、合河1人、岩屋2人となっている。

**産業建設部長** 製造業を中心に雇用調査を行っているが、回答率は77.4%であり、平成29年6月現在、外国人労働者の合計が160名となっている。その他の把握している業種は、農業法人と建設業である。

**郡司掛議員** (各地区の) 区長さんは、各区に居住する外国人労働者をどのように把握しているか伺いたい。

**市民福祉部長** 平成24年7月9日から外国人の住民登録制度が改正され、外国人も短期滞在者などを除いては、日本人と同じように住民票に掲載されることとなった。毎月、前月1カ月分を区長さんに書面でお知らせをしている。

**郡司掛議員** 住民登録をされない外国人の方はいるのか。

**市民福祉部長** 外国人で

住民登録をすることができないのは、適法に3カ月を越えて在留する方であるので、3カ月以下の在留資格の方、観光目的等の短期滞在の方、また在留資格がない方は住民登録できない。したがって、市内に住んでいる外国人の全てを把握出来ないのが実情である。

**郡司掛議員** 外国人労働者の雇用に関して、市・企業・区長の3者で連携していることがあれば伺いたい。

**産業建設部長** 連携して取り組んでいることはないが、現在、関係課・関係団体と外国人労働者等について、調査・研究中である。今後、関係機関、及び企業や地域と連携を取りながら対応していきたいと考えている。

**郡司掛議員** 今後、外国人労働者を地域コミュニティに巻き込むことによってお互いに共存・共生していく重要性が出てくると思うがいかがか。

**市長** 企業の皆さんや地域社会の皆さんの意見を聞きながら、いい受け入れ方、受け皿づくり、受け入れ力を強めていきたいと思う。

# 地域と連携し 子どもの居場所づくりを



為藤 直美

**為藤議員** 子どもの教育の場所づくり、遊ぶ場所づくり、子どもの安全居場所づくりとして環境をつくるのは、我々大人である。また、ゲームや携帯が普及し、近年の子どもの体力は低下している。幼児期、学生時代の経験こそが元気な体をつくる基本になるのではないか。天地山公園の有効的な利用方法も含め、遊ぶ場所・スポーツのできる場所等、今後の環境づくりについて伺いたい。

**産業建設部長** 公園が偏在しているという指摘もあるが、学校グラウンド等の活用や空き地等スペースの有効活用も踏まえ検討したい。

**為藤議員** ぜひ、未来の子どもたちのために整備をお願いしたい。

次に、コミュニティスクールについて、豊前市では、どのように取り組んでいるか伺いたい。

**教育部長** 地域と学校がいつしよになって取り組む学校運営協議会制度を導入した学校をコミュニティスクールと呼ぶが、豊前市では位置づけしている学校はない。今後、中学校ブロック、各学校の教育協議会の設立に向けて、豊前市の実情に合うようなかたちで、この制度の導入を図りたいと考えている。

**為藤議員** 教員の数も少なく、新たな仕組みづくりや手続きに要する時間がないと思うが、他の地域では、市に一人、地域コーディネーターを置き、全学校と手続きや地域との調整をしている所があった。最近では、子どもが犠牲

になる事件も多く、地域と子どもが交流することで、安全につながると思うが、子どもの居場所づくりについて、教育長の考えを伺いたい。

**教育長** 学校と家庭、地域との連携・協働により、共に子どもの成長を支える体制をつくり、学校や教員は教育活動に重点を置いて取り組むことができるようにしていくことが重要である。学校のOBも地域でいろいろな活動をされた方もたくさんいるので、力を借りながら、その力を合わせてチームとして、子ども達を育てていきたいと思っている。

**為藤議員** 地域には、教育経験者や専門知識を持つている方、指導経験など、元気でエネルギーのある方がたくさんいる。ぜひ、豊前市にできる範囲で、多くの子ども達と地域がつながっていくような組織づくりをお願いしたい。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

### 【質問項目】

(内丸伸一議員)

① 業務委託

② 防災

③ 環境関連施設

(平田精一議員)

④ 生活インフラ

⑤ 中山間地域諸問題

(黒江哲文議員)

⑥ 豊前市の取り組みと官民の連携

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

## 施設整備は遅れれば 多大な損害に

内丸議員 環境関連施設について、3月議会の新年度予算で、経費削減のため新設と既存の施設を使う方法を比較検討する、約1500万円の設計費用を組んだが、それはいま現在、どうなっているか。

また、槽など、コンクリート構造物は、見えないうクラックなどもあり、非破壊検査等をしつかり行わないと後々困ることとなると思うが、検査の状況はどうなっているか。

市民福祉部長 せっかく予算の承認をいただいたが、基本設計をしなくても新設と改修とを比較検討し、的確な判断をするための材料が揃うのであれば、設計委託については少し様子を見ようということ、現在、保留している。ただ、改修の場合に使うと予想される槽

の点検だけは、5月の下旬に行つたところだ。

内丸議員 地元六区で構成する協議会は、平成28年12月6日に当時示された、し尿処理場の下水投入方式前処理施設建設で協定書を締結しており、その1年後の平成29年12月8日に念書を取り交わし、なんの支障もなく話が進むようになっていくはずなのに、なぜ進まないのか。

市民福祉部長 遅くとも議会での説明をした後に、市としての方向性をはつきりさせて、その後に地元の方々とお話をしたいと思つている。

内丸議員 地元協議会では、安全で安心できる施設、方法なら早急に進めてほしい、という意見も出ているが、ぜひとも早急に進めて皆さんにちゃんと説明していただきたい。

い。地元漁協でも担当者が来て説明するだけでなく、責任者が組合員に誠心誠意、説明してほしい、という意見も出ているようだが、そういったことをする予定はあるか。

市民福祉部長 話し合いをする、協議をするということは大変なことなので、いろいろな方のご意見は参考にしていかなければと思つている。

内丸議員 元々の計画が実行されていけば、ごたごたすることもなく、29年度中には新しい設備に更新し、稼働していただく。しかし、最初の計画も頓挫し、次の計画も既存施設再利用の検討など、計画の変更で前に進んでいないように感じる。着工が遅れば遅れるほど、豊前市に多大な損害を与えているということを認識したうえで、地元住民の声に真摯に向き合い、常に進捗状況をしっかり説明しながら、この問題の早期解決のため力を尽くしていただきたい。



## 生活インフラは 広域で

上げていく要因と分析している。

**平田議員** 資料を見ても、近隣の市町村の中で豊前市だけが赤字である。民間企業なら赤字部分は切り捨てていくが、行政はそういうことはできない。そのためにも赤字を減らす努力が必要だと思うが、いかがか。

**平田議員** 上水道及び水道料金について、豊前市は、他の市町村からみて、水道料金が高いと言われ、資料を見ても、県下で5番目に高い行政地区になっている。その原因は？

**産業建設部長** 県平均の給水原価が1㎡あたり179.2円であるが、豊前市は、278.2円と99円割高になっている。主な要因としては、他の自治体と比べて経常経費に占める水道企業団からの受水費の割合が59.4%と高く、企業団における他の構成団体平均21.8%と比較すると、3倍近い数値で、そこが単価を押し

上げていく要因と分析している。

**平田議員** し尿処理の問題に関連してくるが、吉富・上毛町が入れば、向こうが使った分だけ水道料金としては入ってくる。だから、絶対に広域でやらないといけない。そして、人口減少が進むということは使用量が減ってくるわけだから、このままいけばなおさら水余り状態になってくると思う。そこで、いま、北九州を

中心とした連携中枢都市圏構想というのがあって、水道もここを利用しながら、大きな範囲で水利用を回していくように考えていくべきではないかと思うが、市長いかがか。

**市長** いろんな施策についてお互いに力を合わせていこう、無駄を排除し、もったいない効率にという流れがある。その中に水道事業というのがあって、今後、どのようにすれば負担の少ない効率的な運営ができるのか、しっかりと研究をしていきたい。

**平田議員** これだけ人口減少の続く中、やはりこういう生活インフラの事業というのは、広域で考えていかないと市町村がもたなくなってくるのではと思うので、しっかりとやっていただきたい。

## 一丸となって 補助金獲得を

**黒江議員** 豊前市は、平成30年度の一般会計予算を約114億円組んだ。予算配分は難しいと思うが、現在のハード事業の優先順位はどうなっているか。

**総務部長** 1点は、防災

無線。来年度4億円前後の予算があがるのではないかと。それと、し尿処理のつなぎ込み、庁舎の耐震、文化施設、学校のトイレの改修等が当面の重要課題と認識している。

**黒江議員** 今のままで現実に可能なか気になるところだ。その計画について、どれだけの費用と年月を想定しているか。

**総務部長** 総合計画の5カ年計画を毎年ローリングする中で、経済情勢を踏まえながらその熟度に沿って予算を計上していくことになるかと考える。

**黒江議員** いま現在の豊

前市の財源で、新規のハード事業に要する投資的予算額はいくらくらいあるのか。

**財務課長** 平成30年度のハード事業に対する投資的予算は、7億7522万円である。

**黒江議員** 約7億円について、継続事業や老朽化の改修工事が入ると、開発的な新規で取り組む予算がほとんどないように感じる。その辺はどんな感じか。

**財務課長** 行政需要は非常に大きく、財政的には厳しい状況だと思っている。

**総務部長** 財源は、右肩下がりの時代の中で、全ての歳出を一から見直す、そういう作業を現在進めているところだ。

**黒江議員** では、投資的予算をどうやってつくるのか。それをやらないと、

何もできないのではないかと。じっとしていても厳しくなるなら、まず必死に国・県へ補助金を取りにいけるべきなのか、また、収益を上げる事業を攻撃的に推し進めるべきなのか、市長の考えをお尋ねする。

**市長** このまま手をこまねいていいのかわからない。それはいかんぞと、頑張っている。補助金を取りに行けという声も強いものがあるが、全体として、やはり豊前市がこれからどうなるのかという不安が、ぼんやりと漂っている。そこを打ち破るものは何なのか、なお金の中でしっかりと、議会の皆さんとも協議しながら、優先順位を付けて元気になる方向で、一生懸命努力していきたい。

**黒江議員** 補助金をお願いするには、議会、近隣自治体、またさらに地元選出の県や国会の議員と連携しながら、一丸となって交渉することがいままの豊前市には重要ではないかと思うので、ぜひ、しっかりとお願いしたい。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

- 【質問項目】
- (秋成英人議員)
- ① 防災
  - ② 駅の活用方法
  - ③ 平和教育
  - ④ 技術職員の採用計画
  - ⑤ し尿処理施設
- (福井昌文議員)
- ⑥ 安全・安心なまちづくり
  - ⑦ 急傾斜地・砂防対策
  - ⑧ 教育問題
  - ⑨ し尿処理施設・生活インフラ
- (鎌田晃二議員)
- ⑩ 空き家対策
  - ⑪ 在宅医療・介護連携推進
  - ⑫ し尿処理施設

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

## 備えあれば憂いなし 万全な災害対策を

秋成議員 耶馬溪の山崩れを受け、新たに点検や対策は行ったか。また、ハザードマップに掲載されている箇所以外で、危険な箇所はないのか、お伺いする。

総務部長 発生当日、総務課・建設課の職員で地域分担し、警戒区域を回り、落石や地滑り等がないか、目視による確認を行った。市民への周知としては警戒区域を有する各区長会議に出席し、土砂災害への注意喚起や、災害の兆現象などの説明を行った。また、市報・ホームページで周知を図り、今後の出水期・台風シーズンに向け、引き続き啓蒙普及活動を行うていきたい。

産業建設部長 土砂災害防止法に基づく警戒区域、特別警戒区域について、県に地盤調査等の要望を行った。また、ハザードマップ

に載っていない山林の危険地域等については、毎年、地元区長さん等にお願いをし、箇所等を教えていただき、県の治山担当と山の斜面の傾斜度や、雨水の流量等を現場確認し、危険性を勘案しながら、治山ダム等の設置の検討をしている。

秋成議員 災害が起きないことが一番であるが、万が一、災害が起きてしまった時の備えは十分か。災害時に3日分の非常食を備えることが推奨されているが、豊前市では何名分の備蓄があるか伺いたい。

総務部長 福岡県備蓄基本計画によると、県が1日分、自治体が1日分、個人が1日分の備蓄食料の確保に努めるとなっている。また、県の地震に関する防災アセスメント調査報告書によると、市の想定避

難者数は、1087名と推定され、これを基準に確保に努めている。現在の備蓄食料は、2ℓの水が700本、備蓄食料が1800食で、県が推奨している平成30年度末までに当面2食分の食糧の備蓄確保を目指している。

秋成議員 早急に全地区の公民館に災害備蓄品等を準備できるようにお願いしたい。

次に、非常食の保存期間の把握、期限間近の食品の管理について伺いたい。

総務部長 食料品が約5年、飲料水が約7年の賞味期限となっている。現在は、賞味期限が来る物はないが、期限が近づいた物は、防災訓練、防災学習等に家庭の食料品備蓄のサンプルとして使用し、防災意識の向上につながるよう努めている。

秋成議員 備蓄も大変だが、食品ロスも社会的な大きな問題になっている。大切な税金で運用されているので、適正な管理・活用をお願いする。



## 進まない し尿処理施設の 整備。全力で

の町で行うと脱退し、みやこ町は混乱の中、液肥化は地元の理解を得ることができないと、搬入を行橋市にお願いし、平成30年3月31日に脱退した。現在、豊前市1市での運営となっている。これで相違ないか、伺いたい。

**市民福祉部長** その通りである。

**福井議員** 整備計画が進まない原因を探るためにも、これまでの経過を振り返りながら質問していきたい。

前組合長時代、し尿処理施設の老朽化に伴い、加盟団体のみやこ町、築上町、豊前市で国の補助金を受け、施設の改修工事を行い、延命化することが決定した。突如、改修工事を取り止め、液肥化を行う話が浮上したが、議会の承認や住民理解が得られず、計画を取り止めた。延命化改修工事を行うことを棚上げし、既に交付決定していた補助金を辞退した。この間、築上町は液肥化なら自分

の運営では、財政破綻を起す危険があるため、上毛町・吉富町と一緒に共同運営するよう進言したところ、両町と共同運営したいと回答を貰った。豊前市から手を挙げて両町に協議会の設立を呼び掛け真剣にその場で協議してもらいたいが如何か。

**市民福祉部長** 今日このような状態に至っており、もう後がないという危機意識をもつて対応していきたい。

**福井議員** 両町も安心が担保された施設がいいと考えていると思う。共同で事業開始後、大規模な改修など費用がかさむようなことになれば心配だが、如何か。

**市民福祉部長** 莫大な投資を伴うので、財政面を考え、対応していきたい。

**福井議員** ここに出席している幹部職員をはじめ、職員一人一人が豊前市の将来の為、信念を持ち、ときには上司に意見具申もしいいことか、真剣に向き合って、今後の取り組みをお願いしたい。

## 住み慣れた地域で いつまでも暮らせるよう 在宅医療・介護連携を

**鎌田議員** 住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けていくということはあると思う。そのために、患者・支える家族を中心に一体的にサービスを提供していくことが望まれている。平成27年度より、在宅医療介護連携推進事業は、介護保険法の地域支援事業として位置付けられた。本事業は、地域の在宅医療の提供確保について、各々の区市町村が主体となって医師会等と連携しながら、取り組むとなっている。本市も豊前市高齢者保健福祉計画に盛り込まれている。そこでお尋ねしたい。まず、地域の医療・介護の資源把握ということ、豊前市のホームページを見ると、これは出来ていると感じた。次に、在宅

医療介護連携の課題の抽出と対応策の取り組みについて伺いたい。

**市民福祉部長** 医師会・歯科医師会・薬剤師会・県の京築保健福祉環境事務所・豊築の1市3町の担当課長が委員の豊前築上在宅医療介護連携運営協議会で話し合っている。

**鎌田議員** 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築と推進のため、訪問看護の拠点を考えているかお尋ねする。

**健康長寿推進課長** 拠点はまだないが、医師会に在宅療養支援診療所として、京築保健福祉環境事務所管内の28医療機関に登録してもらっている。

**鎌田議員** 医療介護関係者の情報共有の支援の為に地域連携バスシートを作成しているか伺いたい。

**健康長寿推進課長** 連携シートは平成28・29年度

に豊前築上医師会でモデル的に作成し、本年度から活用という段階になっている。先日、の検討会で診療所の先生から役に立っていると報告があった。現在は、豊築管内で使用しているが、医療の幅が広がるので、京築保健福祉環境事務所管内で統一の様式が出来ないか、検討中である。

**鎌田議員** 在宅医療介護連携に関する相談支援は、健康長寿推進課の中の地域包括支援センターで行っているのか。

**健康長寿推進課長** その通りで、豊前市独自で相談を受けている。

**鎌田議員** 豊前市の地域支援事業一覧を見たら、一般介護予防事業から地域介護予防活動支援事業、包括支援事業と凄く取り組みがされている。良く頑張っていると思いい、福祉分野の職員が足りないのではと心配している。これからも、しっかりと頑張っていたきたい。



## 宮城県東松島市と友好都市提携を結びました。

去る平成30年5月8日(火)、豊前市総合福祉センターにおいて、両市の市長及び議長、また農林・漁業・企業・観光等の関係者が集まるなか、友好都市提携書の署名が行われました。

宮城県東松島市とは、以前からカキの稚貝を頂いたご縁により交流があり、震災以降、豊築漁協からの漁船の寄附・豊前市職員の派遣・災害時相互応援協定の締結・両市イベントの物産販売の交流を含め、豊前市の小・中学生が震災復興体験学習に参加するなど教育分野での交流も行われています。

今回の友好都市の提携を機に「更なる両市の発展・民間の方を含めた人的交流・文化交流・経済交流」を深めていきたいと考えています。



豊前市での調印式

## 産業建設委員会視察研修



6月15日の産業建設委員会の中で、豊前市内にある豊前ニューエナジー合同会社に視察研修に行きました。合同会社は、イーレックス(株)・九電みらいエナジー(株)・(株)九電工の三社で構成し、バイオマス発電事業を行います。

現地では、建設工事・事業管理・運営体制・発電所の概要や建設工程その他、詳しく説明をしていただき、たいへん有意義な研修となりました。現在は、完成に向け、建設中です。

また、同じ敷地内にある豊前開発環境エネルギー(株)のHiビーズ製造施設や九州電力(株)豊前発電所の蓄電池施設も同時に視察を行いました。



# 議会事務局からのお知らせ

## 政治家の寄附の禁止(公職選挙法第199条の2第1項、第2項)

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすること(政党その他の政治団体や親族に対するもの及び政治教育集会に関する必要やむを得ない実費の補償は除かれます。)は、その時期や名義のいかんを問わず禁止されており、次のものを除きすべて罰則の対象になります。

- 1.政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀
- 2.政治家本人が自ら出席する葬式や通夜における香典

上記の場合であっても、選挙に関してなされた場合や通常一般の社交の程度を越えている場合は処罰されます。なお、政治家以外の者が、政治家名義の寄附をすることも罰則をもって禁止されています。

## 豊前市議会は、初盆参り等については、 法令遵守をいたします。

### 広域行政セミナーに参加

6月7日、ホテル日航福岡において「九州の自立を考える会」(会長・蔵内勇夫氏)主催の広域行政セミナーが開催され、豊前市議会からも議員が参加しました。当日は、中央大学名誉教授の佐々木信夫氏を講師に「東京の政治、日本のこれから」と題した講演があり、九州各県より集まった県議、市議等が熱心に聞き入っていました。「九州の自立を考える会」は、九州の自立・発展を目的として新しい公共政策課題の研究に政財界で取り組み、また将来の道州制も視野に入れた研究を目的に設立した会です。



九州の自立を考える会のセミナーの様子





## 教育長に中島氏が再任

6月議会最終日(6月20日)、市長より中島孝博氏を教育長とする人事案が提案され、全会一致で同意しました。昨年6月に退任された戸田教育長の後任として任命された中島教育長であります。前任者の残りの期間約1年が満了し、再任されました。



## 全国市議会議長会 表彰・感謝状

岡本清靖議員(議員10年表彰)、福井昌文議員(議員10年表彰)と磯永優二議長(全国市議会議長会国会対策委員会委員の感謝状)が、5月30日に東京で開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

岡本清靖議員 (10年表彰)      磯永優二議員 (感謝状)      福井昌文議員 (10年表彰)



## 作品 掛け替え

5月18日に青豊高校書道部の部員6人が市議会議員控室と市長室の書作品の掛け替えにやってきました。前身の築上中部高校時代からの恒例行事で、今年で21回目となります。

議員控室には、森本菜々花さんの作品「気韻生動・心間神旺」が飾られました。

同部は、市役所のほか豊前警察署などにも書の貸出しをしているそうです。

青豊高校書道部による書の掛け替え

## 編集後記

暑さ厳しき折り、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

梅雨終盤の大雨による大災害が二度と起こらないことを祈りつつ豊前市議会としましては、暑さが身にこたえる時期を吹き飛ばす思いで、市政のチェック機能を強化し、市民の皆様と一緒に迅速な課題解決を目指していきたいと強く決意しているところであります。

そのためには、どうかどんなことでも構いませんので、皆様の日頃からの疑問、ご意見、ご要望を議会の方にお寄せください。

市民、行政、議会の連携・協力により、住み良い街づくりの実現を目指して、お互いに頑張っていきましょう。

時節柄、お身体をご自愛くださいますようお願い申し上げます。

秋成 英人

次回の定例市議会は  
**9月**です

## 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会  
委員長：黒江哲文  
副委員長：郡司掛八千代  
委員：内丸伸一 秋成英人  
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社